

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	鍼灸理論3	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	『はりきゅう理論』						
担当教員情報							
担当教員	宮本 陽平			実務経験の有無・職種		有・鍼灸師	
学習目的							
鍼灸刺激が生体にどのように作用するのかを学ぶ。東洋医学的な考えではなく、現代医学の観点から鍼灸による刺激を分析することで、鍼灸刺激により起こりうる種々の生体反応を理解する。神経学的反射機構、炎症反応、免疫反応、鍼灸関連学説などを学び、鍼灸施術の治効機序、鍼灸で期待できる効果を考え、臨床現場での足がかりとなる知識を養うことがねらいである。また、学術的な見地に触れることで、学会への参加や論文抄読への意欲を養うことも目指す。							
到達目標							
この科目では鍼灸施術の治効機序を理解することをねらいとする。基礎実験を参考とし、鍼灸刺激による反射機構の理解を深めること、炎症反応の概略を理解することで鍼灸刺激によって起こりうる現象を理解すること、鍼灸関連学説を理解することにより、鍼灸治療の特徴や合目的性について科学的に捉える習慣を身につけることが目標である。また、これら学習する内容を、将来的に一般の患者や他の医療職種に従事者に対して、鍼灸施術の効果・効能として説明できるようになることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、講義を通じて鍼灸の治効機序の理解を深めていく。基礎実験の結果を通じて、鍼灸刺激が自律神経系に及ぼす影響を考えていく。また炎症反応の概略、意味を学び、鍼灸刺激によって起こる生体防御反応、炎症反応の仕組みを考える。鍼灸関連学説を学ぶことで、鍼灸刺激が生体に対してどのような反応を引き起こす可能性があるのかを検討する。将来の臨床の場でこれらの機序を念頭に置き、目の前の患者に対してどんな効果を求めて施術をするのか考える習慣をつけることを目指していく。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	刺激と反応			鍼灸の治療的作用を理解する			
2回	刺激と反応			鍼灸の治療的作用を理解する			
3回	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響			自律神経一般、血管運動を理解する			
4回	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響			鍼の血流に及ぼす影響を理解する			
5回	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響			鍼の内臓に及ぼす影響を理解する			
6回	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響			炎症反応の概略を理解する			
7回	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響			内因性発痛物質を理解する			
8回	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響			免疫反応を理解する			
9回	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響			鍼灸が生体防御機構に与える影響を理解する			
10回	関連学説			サイバネティックスを理解する			
11回	関連学説			内部環境の恒常性、ホメオスタシスを理解する			
12回	関連学説			ストレス学説を理解する			
13回	関連学説			過剰刺激症候群を理解する			
14回	関連学説			圧発汗反射を理解する			
15回	テスト解説			まとめ			